

舞鶴から希望の京都をつくろう！ ～地域力の創造と市民の幸せを目指す～

京都府議会議員 池田まさよし通信 [第4号]

〒624-0854 舞鶴市宇円満寺133番地3 TEL:0773-77-1722 FAX:0773-77-1723 <http://www.ikedakai.net>

平成二十四年度当初予算についてですが、少子高齢化の急速な進展や地震・台風災害などの多発、さらには円高などの中で地域間格差がひろがって、多くの不安を抱えるとき、

今年には特に大雪に見舞われ舞鶴市でも一日の降雪量が八十七センチに達し過去最高を記録するなど、厳しい冬でしたが、桜のつぼみも膨らみはじめ春の訪れが間近となってきました。
政府は平成二十四年度予算を昨年末、閣議決定をしました。東日本大震災への対応は勿論ですが、一方で、高速道路の無料化や子ども手当など、主要施策の大幅な見直しとともに、ハツ場ダム建設中止の公約を撤回し、「マニフェストの柱の一つであった「コンクリートから人へ」の理念がいかに空虚なものであったかということを示したものであります。
会期三十九日間（二月十三日～三月二十二日）の二月定例会で、平成二十四年度当初予算や補正予算を慎重審議し三月二十二日に閉会しました。



京都府議会議員 池田正義

我が会派が幾度となく強く提案していた、投資的経費について、補助事業が国の公共工事予算の削減でやむをえず前年度比9.6、

人々が夢と希望を持って、幸せを実感できる、京都を元気にする予算編成がなされたところであります。
府税が法人二税の大幅な落ち込みの影響等により史上初めて五年連続で減少し、基金の活用可能額も大きく減少するなど、厳しい状況の中、一般会計八千九百四十五億四千九百万円、前年度比10.8%の増額予算、特別会計二千四百八十三億四千四百円、公営企業会計百九十億八千三百万円、総額一兆千六百九十九億四千六百万円の積極姿勢の予算です。
内容は、四つの元気を京都づくりであります。一つには、中小企業振興対策や雇用の元創出対策などの成長戦略を描く「発展する京都づくり」、二つには、災害や犯罪から府民を守る「あんしん京都づくり」、三つには、一人ひとりが生きがいを実感できる「しあわせ京都づくり」、四つには、未来への投資ともいえる「明るい京都づくり」であります。



2月16日 着物議会

必要不可欠な投資として、学校、社会福祉施設等の府民利用施設や河川等の耐震化の促進、橋りょう等の公共施設の長寿命化など。さらには公共事業への満足度を高めるために、府民公募型安心・安全整備事業に加え、その発展型事業として、複数年にまたがる少し大きな規模の事業も対象に、地域主導型の公共事業を新たに創設され、府民ニーズに沿ったかたちの公共事業が予算化されています。
今後とも、舞鶴から希望の京都づくりに邁進していききたいと思っております。



1月6日 山田京都府知事に挨拶



1月7日 自民党府連懇話会

2012 1月-3月

活動報告



1月8日 消防出初め



1月8日 隊友会・水交會への出席



1月17日 難本へ委員会視察



2月18日 府政報告 早春の集い



2月8日 国会議員への要望1



2月8日 国会議員への要望2



2月22日 京都駅八条口駅前街頭演説府政報告



2月19日 朝来地区にて防災訓練1



2月19日 朝来地区にて防災訓練2



3月11日 地域防災訓練1

池田まさよし事務所 ご案内

西事務所（舞鶴市宇円満寺133番地3）



TEL(0773)77-1722 FAX(0773)77-1723
オープン時間 9:00～17:00

西舞鶴駅より徒歩2分です。牛井吉野家さんの隣です。尚、駐車場がありませんので、西駅市営駐車場をご利用下さい。



3月8日 園芸師会との懇談会に出席



3月11日 地域防災訓練2



3月18日 与保呂水源地「桜の植樹祭」



3月21日 掃海艦「ながしま」入港歓迎行事

いつでもお気軽にお立ち寄り下さい。市民の皆様からのご意見・ご質問も受け付けております。

中丹地域医療再生計画変更承認される

厚生労働省の「地域医療再生計画に係る有識者会議」(座長 梶井英治・自治医科大学地域医療センター長)は三月十二日の会合で京都、福井、神奈川県、山形県の四府県の変更承認を認めるかどうか議論した。京都府は、舞鶴市内の公的四病院を三病院に再編する予定だった中丹医療圏の再生計画の変更を申請。四病院を残して連携強化する変更案を提示し、委員からは反対の声はあがらず賛同を得、三月二十六日に承認された。



舞鶴赤十字病院(被爆医療機関として整備)

各病院の特色ある分野の機能充実、病院間連携の強化を図り、中丹医療圏における舞鶴地域の安定的な医療体制を確立する。

事業概要として、東地区の舞鶴医療センター機能強化事業(二億五千六百万円)・昭和中センター、周産期サブセンターとしての機能向上。舞鶴こども療育センターの整備費(設計費六百万円)・舞鶴医療センター敷地内に移転、小児医療充実。



3月12日 有識者会議の様子

西地区の舞鶴赤十字病院機能強化事業(二億円)回復期病棟の整備、リハビリテーションセンターとしての機

能充実、舞鶴市民病院整備事業(二千万円)、療養病床に特化し西地区に移築。緊急時放射線検査施設等整備事業費(二千二百八十万円)府域の検査機能を有する被爆医療機関として、舞鶴赤

農林・水産関係事業を強化

京力農業・

農村総合対策事業費

●担い手の減少や高齢化に的確に対応し、力強い京都農業づくりと持続可能な農山村づくりを展開するため、農業法人等を核とした農業経営構造への転換、農産物のブランド力強化、地域資源を活かした農村ビジネスの創出等を総合的に推進するため、京力(きょうりょく)農業・農村総合対策事業費二十一億七千四百七十七万円を措置しています。

●野生鳥獣被害総合対策事業費に、四億一千四百二十万円。野生鳥獣による農林業被害等を防止するため、有害鳥獣に対する捕獲圧強化、地域防除力強化、生息環境整備を柱に、「農林被害平減戦略」として地域ぐるみの幅広い取組みを総合的に推進します。

●一、有害鳥獣に対する捕獲圧強化
新規担い手確保のための勧誘活動や

十字病院に整備する予算等が決まった。山田府政と多々見市政の連携の賜である。さらに府議として、しっかりと支援をし、更なる地域医療の向上に努めていきます。

捕獲班員の短期育成や研修、有害捕獲や隣接府県との広域捕獲、個体処分等の推進を図ることとしています。

新規に捕獲強化対策支援事業として、新型一斉捕獲網や監視カメラ付きの遠隔操作捕獲網、イノシシ捕獲網の大量導入による捕獲対策の強化。

二、地域防除力強化

防護柵の設置、ニホンザル被害緊急対策、クマ剥ぎ被害防止など防除対策を推進します。新規に有害ザル撃退モアル対策事業としてサルを捕獲するサル捕獲員の設置を支援します。

三、生息環境整備

野生鳥獣の生息環境を保全し、人と野生鳥獣の棲み分けを促進するための奥山環境整備やバッファゾーン整備をします。新規に奥山環境整備事業として、実のなる木の植栽や針広混交林化など、野生鳥獣の生息する奥山を整備します。



日本海側拠点機能推進事業

京都舞鶴港、いざ発進!!

いよいよ、京都舞鶴港が日本海側拠点港に選定されたことを受け、国際フェリーの航路開拓、外港クルーズの誘致及び国際海上コンテナ航路の拡充に向けたソフト・ハード一体となった事業(十五億九百万円、うち港湾事業特別会計五千七百万円)を推進します。

日本海側拠点港選定を 踏まえた今後の取り組み

事業内容は、
一、国際フェリー・ニューフロンティア事業
中国・韓国への高速海上輸送ネットワーク



ワークづくりや対岸諸国との物流と人流の促進に向けた国際フェリーの開拓に繋がる事業を実施する。

二、環日本海クルーズ誘致事業

急増するアジアのクルーズ人口等をターゲットに、日本海側諸港(小樽港・伏木富山港等)と連携した協同プロモーション活動の展開等、クルーズ客船の誘致活動を実施する。

三、コンテナ二万トン実現事業

既存航路の拡充や新規航路開拓のため、コンテナ貨物の二万トンの確保を目指して、ロシア航路のコンテナ化や大口貨物の獲得等に向けた支援を実施する。

四、国際フェリー等受入環境整備事業

港湾機能の一層の強化を図るため、施設整備を推進する。

今年四月に、府議会議員団で韓国に赴き浦項(ポハン)港との国際フェリー

災害廃棄物(がれき)の受け入れについて

京都府では三月九日、府知事が定例記者会見で、処分場のある市町村と協議し合意後に試験焼却を行う方針を表明。
多々見舞鶴市長が三月十二日市議会で、「国や府からがれき処理の要請があった時には積極的に対応し、できるだけ早期に受け入れたい」と表明。

京都府議会では三月二十二日岩手・宮城両県のがれき受け入れを府に求める決議案を全会一致で可決しました。三月二十五日関西広域連合では専門家会議を行い東日本大震災によるがれきを受け入れるための基準について、廃棄物一キログラム当たりの放射線物質濃度一〇〇ベクレル以下、陸に埋め立てる焼却灰については一キログラム当たり二〇〇〇ベクレル以下と国より厳しい基準と



することを決めました。府内で舞鶴市ががれき受け入れに前向きな立場を表明していることから、私は山田知事に現場(舞鶴市)に向いて、府の方針等を説明していただきたい旨、要請をしました。もちろん、私も舞鶴市が、安全ながれきの受け入れができるように積極的に関わっていきます。